

GRESB リアルエステイト評価「ディベロップメント・ベンチマーク」において 最高評価「5 スター」を 2 年連続取得

三井不動産株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:植田俊、以下「三井不動産」)は、2024 年に実施されたGRESB リアルエステイト評価において、「GRESB ディベロップメント・ベンチマーク」では 2 年連続 5 スターを取得したことをお知らせいたします。「GRESB スタンディング・インベストメント・ベンチマーク」では 4 スターを取得しました。

当社グループでは、GROUP DNA「&マーク」の理念「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける。」に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪としてとらえ、経済的価値の創出を更に大きな社会的価値の創出につなげていきたいと考えています。

当社グループは、今後もサステナビリティ社会の実現に向けて取り組みを積極的に推進してまいります。



■評価結果について

- ・GRESB ディベロップメント・ベンチマーク(新規開発・大規模改修評価)…5 スター
- ・GRESB スタンディング・インベストメント・ベンチマーク(既存物件運用評価)…4 スター

■GRESB について

GRESB は、不動産会社・ファンドの環境・社会・ガバナンス(ESG)配慮を測る年次のベンチマーク評価及びそれを運営する組織の名称であり、責任投資原則(PRI)を主導した欧州の主要年金基金グループを中心に 2009 年に創設されました。

また、GRESB リアルエステイト評価は、個々の不動産を対象としたものではなく、不動産会社や REIT ごとのサステナビリティへの取り組みを総合的に評価することが特徴です。

投資先の選定や投資先との対話に GRESB データを活用する投資家メンバーは、現在約 150 機関に上り、日本でも、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)をはじめ、複数の機関が GRESB 評価結果を利用しています。2024 年に実施された GRESB リアルエステイト評価には、世界で 2,223 の上場・非上場の不動産会社・ファンドが参加しました。

■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

また、2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY(重点的に取り組む課題)」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、

「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】

・「グループ長期経営方針策定」

<https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>

・「グループマテリアリティ」

https://www.mitsufudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/

＊本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における2つの目標に貢献しています。

